

日本共産党港区議員
熊田ちづ子
区政報告

2008年4・5月
No.76

— 発行 —
日本共産党港区議員団
TEL 3578-2945
連絡先：東麻布2-3-7
TEL 3583-1402
Eメール kumada@jcp-
minatokugidan.gr.jp
HP http://www.jcp-
minatokugidan.gr.jp

無料生活相談会

五月十二日(月)

飯倉福祉会館を予定しています
お気軽にご連絡をお待ちしています

命を差別 後期高齢者医療制度 区長答弁「制度は必要」「中止は求めない」



怒り沸騰の説明会

拡がる怒り

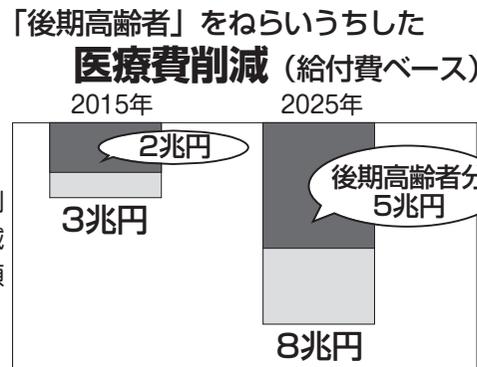
「誰がこんな制度を作ったのか」「私たちが姥捨て山に追いやられるのか」「年寄りには死ねといふことか」と、七五歳以上の高齢者の怒りが、今、全国に渦巻いています。

日本共産党は、後

期高齢者医療制度は老人の命に関わる大問題であり、四月実施の中止を求めて運動してきました。医療関係者も、この制度に多くの問題点を指摘しています。怒りが拡がるなかで、政府も一部手直しを行いました。が、これも一時的なもので、根本的な問題点は何も解決されていません。

政府・財界のねらい

この制度の一番のねらいは、医療費のかかる七五歳以上の方をひとまとめにし、受けられる医療を制限、医療費の増加を抑えることにも、二〇一五年には二兆円、二〇二五年には五兆円の医療費を削減することにあります。



上限額を決めて、診療・医療に制限を持ち込む制度です。
また、保険料を支払えない困窮者は、保険からはずされ、医療を受ければ病院の窓口で費用の全額支払いを求められます。病気で医療を辞退せざるを得ない、命に関わるとんでもない制度です。

区議会では

党議員団が本会議でこの制度への見解を求めたのに対して区長は、「超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系実現のための仕組み作りとして必要」、四月実施の中止を国に求めるよう質問したのに対しては、「国に求めることは考えていない」の冷たい態度を示しています。

医療はどうなる

後期高齢者の診療費は月額六千円と設定。医療機関がそれ以上の検査や治療をすれば、医療機関の負担となります。結局、医療費の

アスベスト隠蔽を防ぐための要綱改正

住民運動実る 六月実施

事実隠し

東麻布一丁目の三菱・竹中施行の建築現場から、既存建物の解体時アスベストがあったにもかかわらず、飛散防止の措置をとらずに解体し、住民側から指摘されるまでこの事実を隠蔽していました。

起こしました。

住民のみなさんは、アスベストの隠蔽問題を曖昧にさせないとの思いで東京都の大気保全課や産業廃棄物対策課、港区の環境課への陳情や交渉をねばり強く重ねていきます。



区議会では

熊田区議は、この問題をたびたび議会に取り上げ、再発防止とアスベスト隠蔽に対する区の対応を求めてきました。区は、「事業者に対し工事施工管理体制に問題があったと考えられるので改善と再発防

止に取り組みよう要請している。区としては東京都など関係機関と協議を進め厳正に対応する」と答弁。

又再発防止については新年度から新たな要綱を作成し(実施は六月)、解体工事を行う場合は事前に施工者がアスベストの有無の調査を行い報告を義務づけます。調査結果に疑義があるものは立ち入り調査も行つこととなります。これによりアスベストの飛散防止が強化されます。



住民が訴え

昨年六月住民側は、自ら調査した結果を基に区に訴えを

なかつた行政処分

今回の竹中工務店の行為は東京都の環境確保条例一二四

保育園給食・用務の民間委託 四月実施を強行

保護者や議会の意見も聞かず業者選定

突然の民間委託

区は、公立保育園の給食調理業務と用務の業務を四月から民間委託にすると突然明らかになりました。調理業務は飯倉保育園と志田町保育園の二園で試行。一定の期間で検討し委託園を広げていく方向です。やり方も強引で、議会や保護者、区民に説明もありません。民間委託を決め、業者選定を行っています。応募業者は一

社のみ、それでも強行しました。

安の声が寄せられています。

民間委託されると

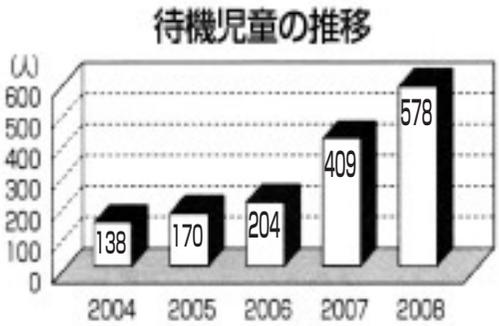
保育園の給食は0歳児の離乳食から幼児食、おやつや夕食など一七種類を作っています。民間委託になると、直接職員同士での連携は出来ないため、子ども達のその日の状態に合わせて食事の調整を行うなどきめ細かな配慮が出来るのかといった、不

共産党は委託に反対

熊田区議は、子どもの成長に欠かせない給食を民間委託することは反対です。保育園で働く職員は調理師や用務職、保育士などすべて職種が一体となって保育に当たることが、子どもの安全を守るうえで重要と考えます。民間委託園を広げないためにも頑張ります。

保育園待機児童急増

保育園の待機児童数は、二〇〇八年二月現在五七八人と過去最高になりました。



公立保育園の増設は急務です。



日本共産党は今定例会でも、公立保育園の増設を求めて質問しましたが、区長は今年度行う人口推計を元に保育需要を十分に精査し保育施設の整備と認証保育の誘致、既存園の改築も含め早急にまもっていくと

いう答弁でした。全く実態を見ていない答弁です。

区長は待機児ゼロを目指すと言いつつ待機児童が増えていることに対する責任が問われます。

熊田区議は、公立保育園の増設を急ぐべきと機会ある毎に取り上げてきました。保育園に入れないければ仕事が続けられないといった深刻な相談が多数寄せられています。引き続きみなさんと一緒に公立保育園の建設に取り組んでいきます。



猫の手術全額助成を求める請願 多数で否決 共産党は採択を主張

「飼い主のいない猫を対象とする去勢・不妊手術の全額助成に関する請願」が出されましたが多数で否決されました。

助成額は、雄猫五千円、雌猫八千円と制度開始時(平成四年)から変わっておりません。猫の手術費用は一万円から三万円と病院によってバラバラです。差額はボランティアの方々が負担しています。

熊田区議は、「地域猫を増やさないためには、十分な予算措置が必要である」と「ボランティアの方々は、えさ場の管理や地域猫のお世話等を善意で行っています。その上費用負担までさせるべきではない」と

早急に全額助成をするよう求めました。引き続きみなさんのご意見を伺いながら助成額の拡大に取り組みます。

緑のカーテン広がる ヒートアイランド抑制に効果

熊田区議の提案で区施設で「緑のカーテン」が広がります。地球温暖化防止の第一歩として、今年の夏に向けて、緑のカーテンを始める準備を始めています。区が学校や保育園に呼びかけた結果、十三の小学校と二つの保育園から希望が寄せられました。今年の夏は多くの学校等でゴーヤ等の緑のカーテンが見られます。



旧エコマラザの緑のカーテン

大門駅構内売店(トリア)がオープン 障害者の就労支援事業としてスタート 売店で焼いたパンや コーヒーを販売

三月一九日都営地下鉄浅草線大門駅構内の一角に、障害者の働く売店が開店しました。お店で焼いたパンとコーヒー、スープなどを販売します。党区議団の提案もあり、区役所一階の売店や障害者センター一階の喫茶タンポポをはじめ、障害者の働くお店が五店舗になりました。



トリア開店初日